

2026.01  
福田美術館

報道関係各位



## 企画展「若冲到トリハダ! 野菜もウリ!」

《果疏図巻》と重要文化財《菜蟲譜》の同時展示が実現！  
新所蔵品含む珠玉の若冲作品約40点を一挙公開

2019年10月に開館した福田美術館は、江戸時代から現代にかけての美術品を幅広く網羅する豊かなコレクションを有しています。その中でもひとときわ注目を集めているのが、2023年にその存在が確認された伊藤若冲（1716-1800）の《果疏図巻》（かそずかん）です。本展では、福田コレクションに加わったのち、約1年間の修理を終えて帰ってきた《果疏図巻》と、その1年後に制作された重要文化財《菜蟲譜》（さいちゅうふ）の2作品を初めて並べて公開します。

さらに、若冲最初期の作品である《蕪に双鶏図》や、2025年に新たに収蔵された《老松白鶴図》など、**新出の若冲作品9点※を含む初期から晩年までの若冲作品約40点を一堂に紹介します。**また、福田美術館が所蔵する与謝蕪村、円山応挙、長沢芦雪など若冲と同時代に京都で活躍した画家の優品も併せて紹介するほか、この度福田コレクションに新たに加わった、箱根の岡田美術館がかつて所蔵していた伊藤若冲《花卉雄鶏図》、《三十六歌仙図屏風》、円山応挙《群犬図》、長沢芦雪《牡丹孔雀図》の4点の名作も本企画展にて公開します。若冲愛好家はもちろん、美術に詳しくない方にとっても、若冲の芸術世界をより深く理解し、その魅力を存分に感じる事ができるまたとない機会です。

会期：2026年4月25日（土）～2026年7月5日（日）

前期：4月25日（土）～6月1日（月） 後期：6月3日（水）～7月5日（日）

【主催】福田美術館

【後援】京都府、京都市、京都市教育委員会

【会場】福田美術館

【作品点数】

合計：64点

※うち初公開：12点



## 第1章 伊藤若冲 創造への飽くなき探求心

### 思わず「トリハダ」！新発見や幻の作品を含む名品の数々！

京都・錦市場の青物問屋「枡屋（ますや）」の長男として生を受けた伊藤若冲は、23歳で家業を継ぎながらも、その胸の内には絵画への止まぬ情熱を秘めていました。若冲は40歳頃、家督を弟に譲って隠居し、画業に専念することを決意します。その後、京都の大寺院が収蔵していた中国絵画や、当時長崎を経由して伝わった中国人画家・沈南蘋（しんなんぴん）による緻密な写生画法などを貪欲に吸収し、自らの画技を磨き上げていきました。その到達点のひとつが、約10年の歳月を注ぎ込み、この世の動植物の生命を凄まじい密度で描き切った傑作《動植綵絵》（どうしょくさいえ）です。

本章では、30代の若き日に描かれた瑞々しい《蕪に双鶏図》から、《動植綵絵》を制作する前の40代初めに描いた《花卉雄鶏図》、**初公開作品《老松白鶴図》**といった絹地に彩色された作品や、**99年前に公開されて以降行方不明になっていた《布袋図》**などの貴重な作品を展示します。

最初期作品



伊藤若冲《蕪に双鶏図》  
18世紀（部分）  
福田美術館蔵 通期展示

初公開！



伊藤若冲《老松白鶴図》  
18世紀（部分）  
福田美術館蔵 通期展示

99年ぶりに公開！



伊藤若冲画 伊藤白歳 賛  
《布袋図》18世紀（部分）  
個人蔵 通期展示

初公開！



伊藤若冲画 藤波季忠 賛  
《樹石図》18世紀（部分）  
個人蔵 通期展示

初公開！



伊藤若冲《蛇図》  
18世紀（部分）  
個人蔵 通期展示

また、墨の滲みを巧みに操る独自の技法「筋目描き」が冴え渡る《芦葉達磨図》など、若冲が歩んだ創造の軌跡を一堂に展示します。**鱗や木の幹の質感を緻密な手法で表現する一方、その表情はユーモアにあふれている蛇の姿の対比が印象的な《蛇図》は当館初公開**の作品です。

緻密な色彩表現と、ユーモアあふれる水墨画の両極を自在に行き来した、若冲の飽くなき探求心が生んだ名作が揃います。

ユニークな表情の蛇と  
緻密な描画技法の  
ギャップに注目！

## 第2章 《果蔬図巻》と《菜蟲譜》

### 類作の2作品、並べて比較！

伊藤若冲《果蔬図巻》  
1790年以前（部分）  
福田美術館蔵 通期展示



伊藤若冲《菜蟲譜》  
1791年以前（部分）  
佐野市立吉澤記念美術館蔵  
4月25日(土)～5月8日(金)  
6月20日(土)～7月5日(日) 展示

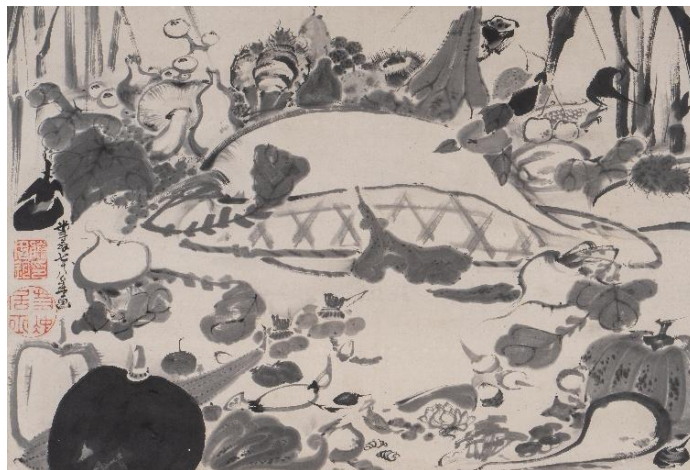
2023年にヨーロッパで見つかった《果蔬図巻》は、若冲が約3メートルの絹本に色とりどりの果物と野菜を描いた巻物です。《果蔬図巻》の巻物の末尾には、若冲の精神的支柱であり、最大の理解者でもあった相国寺の僧侶・梅莊顕常（ばいそうけんじょう／大典）による跋文（ばつぶん）（後書き）が添えられています。一方、《菜蟲譜》は、《果蔬図巻》の1年後に描かれた長さ11mに及ぶ巻物で、前半部分に野菜や果物、後半部分に昆虫、蝶、爬虫類などの数々の生き物が描かれており、国の**重要文化財に指定**されている晩年の代表作です。両作品には、登場する野菜や彩色方法などに共通点が見られるとともに、青物問屋を営んでいた若冲ならではの果物や野菜に対する優しいまなざしを感じることができます。

**本章では、約1年間におよぶ修理を終えた《果蔬図巻》と、《菜蟲譜》を比較しながら鑑賞できるよう、初めて並べて展示します。**《菜蟲譜》が関西で展示されるのは2018年以来8年ぶりとなります。文化財保護のため限られた期間しか展示することができない《菜蟲譜》と《果蔬図巻》が共に並ぶ、極めて稀少な機会です。

初公開！

さらに、**近年その存在が確認された、涅槃図を野菜と果物で表した《果蔬涅槃図》（かそねはんず）も初公開します。**若冲が大典と共に京から大坂へ淀川を舟で下った際に見た風景を、「拓版（たくはん）」の技法で写し取った《乗興舟》（じょうきょうしゅう）や、自由闊達な筆致と洒落の効いた人物表現が冴え渡る《三十六歌仙図屏風》など、晩年の名作も多数展示します。

伊藤若冲《果蔬涅槃図》  
1792年以前（部分） 個人蔵  
5月9日（土）～6月19日（金）のみ展示





### 第3章 若冲と同時代の画家たち

#### 円山応挙、長沢芦雪などの優品も公開

18世紀に経済が発展するにつれ、それまで武士や公家、豪商だけが楽しむものだった美術が広く大衆にも親しまれるようになりました。多くの人々の要望に応えるため、代々画家を生業とする狩野派だけでなく、農民や武士、商家出身の人々も画家を志すようになります。

本章では福田コレクションの江戸絵画の中から、伊藤若冲と同時代を駆け抜けた、個性豊かな絵師たちに光を当てます。商家出身の曾我蕭白（そがしょうはく）（1730–1781）、農民出身の円山応挙（まるやま おうきょ）（1733–1795）とその弟子で武家出身の長沢芦雪（ながさわ ろせつ）（1754–1799）などが描き出した多彩な作品を展示します。

当館初公開！



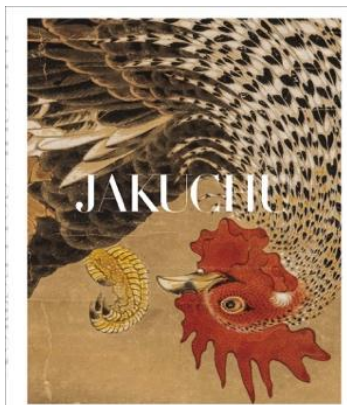
長沢芦雪《大黒天図》18世紀（部分）福田美術館蔵 後期展示



円山応挙《群犬図》（部分）福田美術館蔵 前期展示

#### グッズも“ウリ”！ オリジナル若冲グッズや待望の公式図録も登場！

ミュージアムショップでは、《果蔬図巻》と《菜蟲譜》に登場する果物と野菜をモチーフにしたお干菓子、縁を囲むように《果蔬図巻》の柄があしらわれた美濃焼の中皿、小皿セットなどのグッズに加え、ユニークな若冲グッズが続々と登場します。本展におけるW展示に合わせた「果蔬図巻と菜蟲譜」、福田コレクションの伊藤若冲作品を網羅した図録「福田コレクションの伊藤若冲」も本展に合わせて発売します。



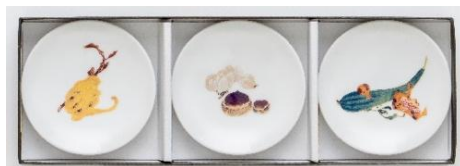
図録※価格未定



果蔬図巻竹しおり  
¥550（税込）



果蔬図巻  
美濃焼中皿  
¥2,750（税込）



果蔬図巻  
美濃焼小皿  
（3枚セット）  
¥6,000（税込）



## プレス用画像\_1

※広報画像は以下の申請フォームよりダウンロードいただけます。

<https://tayori.com/f/jyakucyu2026/>

※トリミング可。その場合キャプションに（部分）と表記

初公開



伊藤若冲《老松白鶴図》  
18世紀 福田美術館蔵  
通期展示

当館初公開



伊藤若冲《蕪に双鶏図》18世紀  
福田美術館蔵 通期展示



伊藤若冲《花卉雄鶏図》18世紀  
福田美術館蔵 通期展示

当館初公開



長沢芦雪《牡丹孔雀図》  
18世紀 福田美術館蔵  
後期展示

初公開



円山応挙《黄蜀葵鷺鳥小禽図》  
1773年  
福田美術館蔵 前期展示



伊藤若冲《蛇図》18世紀  
個人蔵 通期展示



伊藤若冲・無染浄善  
《馬図》18世紀  
福田美術館蔵  
通期展示



伊藤若冲《楼閣山水図》  
18世紀  
個人蔵 通期展示



## プレス用画像\_2

※広報画像は以下の申請フォームよりダウンロードいただけます。

<https://tayori.com/f/jyakucyu2026/>

※トリミング可。その場合キャプションに（部分）と表記

初公開



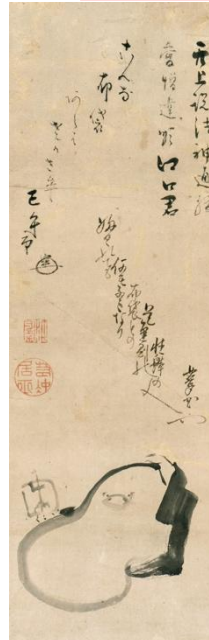
伊藤若冲《果蔬図巻》（部分）1790年以前 福田美術館蔵 通期展示

重要文化財



伊藤若冲《菜蟲譜》（部分）1791年以前 佐野市立吉澤記念美術館蔵  
4月25日(土)～5月8日(金) 6月20日(土)～7月5日(日) 展示

※《果蔬図巻》《菜蟲譜》は全図のご用意もございます。  
ご希望の方はお申し付けください。

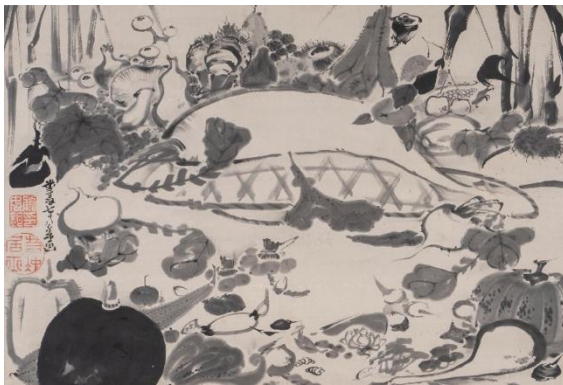


伊藤若冲 画  
伊藤白蔵 賛  
《布袋図》18世紀  
個人蔵 通期展示



長沢芦雪《大黒天図》  
福田美術館蔵  
18世紀 後期展示

初公開



伊藤若冲《果蔬涅槃図》1792年以前 個人蔵  
5月9日(土)～6月19日(金)のみ展示

当館初公開



円山応挙《群犬図》1773年  
福田美術館蔵 前期展示

左隻

当館初公開

右隻

当館初公開



伊藤若冲《三十六歌仙図屏風》1795年以前 福田美術館蔵  
5月9日(土)～6月19日(金) 展示

## 展覧会概要

企画展名

会 期

開館時間

休 館

主 催

後 援

アクセス

料 金

「若冲にトリハダ！野菜もウリ！」

2026年4月25日（土）～2026年7月5日（日）  
＜前期＞4月25日（土）～6月1日（月）  
＜後期＞6月3日（水）～7月5日（日）

10:00～17:00（最終入館 16:30）  
5/12（火）、6/2（火）、6/16（火）

福田美術館

京都府、京都市、京都市教育委員会

〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16  
JR山陰本線（嵯峨野線）「嵯峨嵐山駅」下車徒歩12分／阪急嵐山線「嵐山駅」下車徒歩11分／嵐電（京福電鉄）「嵐山駅」下車徒歩4分

一般	高校生	小・中学生	その他
1,500 (1,400) 円	900 (800) 円	500 (400) 円	* 障がい者と介添人1名まで各900（800）円 * 幼児無料 * （ ）内は20名以上の団体料金

＜嵯峨嵐山文華館との両館共通券＞  
一般・大学生：2,300円／高校生：1,300円／小中学生：750円  
障がい者と介添人1名まで：各1,300円

### プレスリリース／広報用画像に関するお問合せ

福田美術館広報事務局（共同ピーアール内）  
 担当：田中真衣、樋口佳代  
 TEL：03-6264-2045  
 Email：fukudamuseum-pr@kyodo-pr.co.jp

### 一般の方からのお問合せ

福田美術館 TEL：075-863-0606（代表）Email：[info@fukuda-art-museum.jp](mailto:info@fukuda-art-museum.jp)